

「平成 19 年度 地域における容器包装廃棄物3R推進モデル事業」の選考事業

No	申請者、所在地	事業名	事業の概要
1	財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（宮城県仙台市）	仙台発エコスポーツ推進プロジェクト事業	プロスポーツのサポーターと連携、ボランティアの協力を得て容器包装の3Rを推進する（人材の育成とリユースカップの普及などを通じた啓発手段の充実）。
2	コミュニティポイントによる地域活性化協議会（東京都世田谷区）	世田谷・烏山・環境コミュニティ持続可能な3R推進モデル事業	自動回収機を利用したペットボトルの資源回収を促進するとともに、回収量に応じてポイントをICカードに貯め地元での買い物に利用することで、容器包装廃棄物の資源化と住民参加型の地域活性化事業を推進する。
3	茅ヶ崎市商店会連合会（神奈川県茅ヶ崎市）	私の思い出のある傘でマイバッグ（マイ傘 de エコバッグ）	市民から不要の傘を受け付け、障がい者施設でボランティアグループがマイバッグをつくり販売。親子、一般市民を対象とした環境学習講座（マイバッグづくり教室）を通じた3R意識の普及啓発を図る。
4	容器・包装3R推進協議会（愛知県名古屋市）	レジ袋有料化促進モデル事業	名古屋市緑区におけるレジ袋有料化の社会的実験。スーパー、量販店、コンビニ、小規模小売店など協力店が一定期間、一斉にレジ袋を有料化し、その間の消費者行動の変化等を調査予定。市と連携した市民意識の変化も調査する。
5	特定非営利活動法人いびがわみずみずエコステーション（岐阜県揖斐郡揖斐川町）	レジ袋ないない大運動会	レジ袋を断ると専用のポイントカードへポイントを押印し、100ポイントを貯めたら1本の植樹活動か1本苗木を配布して育成。大垣市での取組をベースとして、NPO、地域団体との連携、企業や行政との協働により、西濃地域全域に拡大する。
6	京都大学環境保全センター（京都府京都市）	レジ袋の量的・質的削減方策にかかる社会システム試行とその検証	レジ袋の質的及び量的削減に向けた取組をモデル事業展開すると同時に、その効果を検証することにより、取組の問題点や改善点を把握し、今後の効果的な施策展開を提案する。

「平成 18 年度 地域における容器包装廃棄物3R推進モデル事業」の選考事業

No	申請者、所在地	事業名	事業の概要
1	ガラスびんリサイクル促進協議会（目黒区、京都市、神奈川県大和市、沖縄県那覇市）	モデル市町村のリターナブルびん分別収集効果・効率性検証事業	リターナブルびんを収集の対象にしている自治体のモデル的なガラスびんの収集について、その分別収集、選別、保管、引渡までのフローの把握、市町村のコスト、課題等の把握を行い、市町村のリターナブルびん分別収集の実効性、効果の検証を行う。また、消費者の利便性、意識、協力度等の把握を行い、全国展開への課題等を明確にする。
2	早稲田商店会・早稲田大学環境総合研究センター（東京都新宿区）	早稲田大学キャンパスとその周辺地域における3Rコミュニティモデル	地域通貨の仕組みを活用し、大学、地域商店街が協働して、地域の環境活動にインセンティブを導入したプラットフォームを構築し、レジ袋削減行動や地域での空き缶やペットボトルの回収、弁当容器のリユースへの取組

		事業	等様々な活動に一体感を持たせた地域における環境配慮活動とインセンティブを効果的につなげた事業を実施し、その効果を数値的に把握、評価をすることでエリアマネジメントのシステムを実証する。
3	杉並区レジ袋削減推進協議会 (東京都杉並区)	杉並区レジ袋削減3R推進モデル事業	レジ袋削減について、地域自主協定によるレジ袋有料化によるレジ袋削減効果・影響等を検証し、地域に求められる取組みを明らかにする。また、様々な主体の協議によるレジ袋削減のための3R運動の推進、これまで推進協議会で進めてきたレジ袋対策のノウハウと課題を取りまとめ、その評価を進め、その知見を広く全国に発信し、レジ袋削減等容器包装廃棄物の3Rの推進を普及啓発する。
4	リターナルブルびん利用促進モデル事業推進連絡会 (神奈川県茅ヶ崎市)	リターナルブルびん利用促進モデル事業	自治体、商店会連合会、小売酒販組合、地元消費者団体、ガラスびんリサイクル促進協議会が協働で、リターナルブルびん利用促進モデル事業推進連絡会を組織し、Rマークびんを含むリターナルブルびんの利用(販売)促進、販売店ルートでの回収促進等について推進し、その効果を把握・検証する。また、各主体の意識、役割等をまとめ、全国展開への課題等を明確にする。
5	京都大学環境保全センター (京都府京都市)	きめ細やかな分別収集に係るモデル事業	プラスチック製容器包装について、よりきめ細やかな分別収集をモデル的に実施し、収集量や収集物の質、他の収集されたプラスチック製容器包装に占める割合、マテリアルリサイクルによる再商品化の品質向上効果等を検証すると同時に、分別収集細分化による市町村及び消費者の負担の程度、消費者の協力の状況・意識の変化等についても把握し、課題と可能性等を把握、検証する。
6	レジ袋削減等3R推進協議会 (大阪府池田市)	池田市レジ袋削減自主協定等モデル事業	商工会議所、市場会連合会、商店会連合会、市民団体等でレジ袋削減等3R推進協議会を組織し、レジ袋の排出抑制をはじめとする容器包装廃棄物等の3Rを推進する。特に、商工会議所、商店街等と市との自主協定の締結によるレジ袋削減運動、推進協議会等によるオリジナルマイバッグの作成、活用と表彰、小学校でのマイバッグ持参運動効果検証事業や子供一日推進員事業等を実施する。
7	NPOごみじゃぱん (兵庫県神戸市)	容器包装廃棄物の排出抑制を目指す簡易包装普及推進社会実験モデル事業	消費者、事業者、教育研究機関及び行政が協働して、容器包装廃棄物の3Rの抜本的な解決に資する社会的仕組みづくりを構築するため、消費者への情報戦略とインセンティブの設定により、簡易包装商品の普及を図る検証事業を行う。実験対象の簡易包装商品の販売実績、消費者の意識・行動の変化の把握と分析を行い、そこから得られた知見を基に、簡易包装推進についての、今後の課題と展開について取りまとめる。

